

アナーを付けて交通事故防止

相手の動きを 読む!



■今年6月にブラジルで開幕するサッカーの「ワールドカップ」、日本代表チームも出場しますので、今から楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。

■さて、サッカーの試合では、相手チームの動きを常に先読みして攻守に当たらなければ、勝利をつかむことができないのは言うまでもありませんが、交通場面でも、他者(車)の動きを常に先読みし、危険を素早く察知しなければ、交通事故に遭う危険性が高まります。

■この春、交通事故の危険を先読みするためのノウハウをしっかりと身につけて実践し、交通事故の脅威から自分の身を守りましょう。

高齢者に優しい“3S運動”を進めましょう

栃木地区交通安全協会・栃木警察署

多発事故の危険を素早く察知するために…

他者(車)の行動を読む!



交通場面には、交通事故につながる多くの危険が潜んでいますが、そのなかでも、実際に多発している事故に直結する危険を素早く発見するためのポイントをまとめました。



ドライバーは…

こんな行動を読む!



信号は「青」だけど、前の車が急にブレーキを踏むかも…

◎特に、街なかの交通量の多い道路では、たとえ先々の信号が「青」で連続していても、渋滞などのため、先行車の流れが急に停滞したり、止まったりすることが少なくありませんが、それを予測せずに漫然と追従していると、前の車に追突する危険があります。

★前の車に追従しているときは、何よりもまず追突事故への警戒



▲渋滞ぎみの道路をノロノロと走行しているときは、不用意な脇見が誘発されやすい

戒心を高め、前の車だけではなく、先行車の動向にも目配りして流れの変化を先読みし、前の車がブレーキを踏んだら、自分も直ちにブレーキを踏める態勢で追従しましょう。

交差点に
自転車や車がいきなり
とび出してくるかも…

◎特に自宅近くのいつもの通り慣れた信号がない交差点を通行するときは、その交通状況を熟知しているだけに安全確認が甘くなりがちですが、交差点から自転車や車が交差点に出てきた場合には、出会い頭に衝突する危険があります。

★たとえ、いつもの通り慣れた交差点で、交差点路側に一時停止の標識がある場合でも、「自転車や車が一時停止を怠ってとび出してくるかも…」と先読みし、必ず交差点の車両の有無を確かめてから交差点を通行しましょう。

人通りは少ないけど、歩行者が不意に渡ってくるかも…

◎住宅地域の道路では、交通量が比較的少ないため、その地域の人々が「わが家の庭」にいる感覚で、十分な安全確認をせずに横断する場合が少なくありませんが、そうした歩行者の行動を予測せずに走行していると、不意に道路を横断してきた歩行者をはねる危険があります。

★車の通行量が少なく人通りも少ない、地域の人々の生活道路を走行するときにこそ、「歩行者が不意に横断してくるかも…」と先読みし、歩行者の早期発見に努めましょう。



▲特に高齢者や子どもは、予想外の危険な行動をする危険性が高い



こんな行動を読む!



ふだんは車がこない

道路だけど、

車がきているかも…

◎特に、自宅近くの通り慣れた道路を横断するとき、「ふだんめつたに車はこないから…」と油断して安全確認を怠りがちですが、たまたま車が近づいてきていると、横断中に車にはねられる危険があります。

★道路を横断するときは、「近づいてくる車がいるかも…」と先読みし、一度立ち止まり、道路の右左から近づいてくる



▲特に夜間は、道路の左側からやってきた車にはねられるケースが多い

車の有無を確かめましょう。

★また、夜間に歩くとときは、明るい色の服装をすることも、反射材を身につけて歩行者の存在をドライバーにアピールしましょう。

右・左折する車が

歩行者に

気づいていないかも…

◎青信号に従って横断歩道を渡る時、「青だから安全…」と油断して、前ばかり見て歩きがちですが、交差点を右・左折してきた車のドライバーに見落とされ、横断歩道上ではねられる危険があります。

★たとえ横断歩道の信号が「青」でも、「右・左折車のドライバーが歩行者に気づいていないかも…」と先読みし、交差点の状況を広く見渡して、近づいてくる車の有無を確かめながら横断しましょう。特に夜間はドライバーに見落とされやすいので要注意です。



こんな行動を読む!



あまり車が通らない

交差点だけど、

車が出てくるかも…

◎特に、自宅近くのいつもの通り慣れた信号がない交差点を通行するとき、「車がくることはめつたにないから…」と油断して、安全確認や一時停止を怠って交差点に進入しがちですが、たまたま交差点道路から車が出てきた場合には、出会い頭に衝突する危険があります。

★一時停止の標識がある場合

はもちろん、標識がない場合でも、「もしかしたら交差点両

が一時停止をしないで突っ込んでくるかも…」と先読みし、交差点の手前で一時停止をして、交差点の車の有無をしっかりと確かめましょう。

右・左折する車が

自転車に

気づいていないかも…

◎青信号に従って横断歩道(自転車横断帯)を通行するとき、「青だから安全…」と油断して安全確認を怠りがちですが、交差点を右・左折してきた車に横断歩道(自転車横断帯)上ではねられる危険があります。

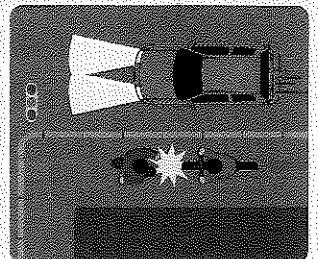
★たとえ前方の信号が「青」でも、「右・左折車のドライバーが自転車に気づいていないかも…」と先読みし、いきなり交差点に進入せず、交差点の状況を広く見渡し、近づいてくる車の有無を確かめてから交差点を通行しましょう。



▲自転車事故の多くは、住宅地域にある信号がない交差点での出会い頭事故

■自転車による加害事故の損害賠償例

夜間、無灯火のまま、徐行せずに歩道を通行中、前方の交差点の信号にとられ、前にいた歩行者に気づくのが遅れて衝突し、死亡させた…



損害賠償 約4,000万円

自転車で歩行者をはねた場合でも、多額の損害賠償を負うことがある…

小さな子どもを交通事故から守りましょう!

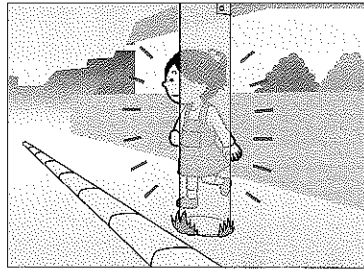
■春には新入学(園)児が通学(園)を始めますが、こうした小さな子どもは、道路の安全な通行方法が身についていないため、道路上で危険な行動をとりがちです。子どもの保護者やドライバーは、子どもの危険な特性等をしっかり理解したうえで、子どもに対する安全指導や、子どもを守る安全運転をしっかりと行いましょう。

子どもの危険な特性等と事故防止のポイント

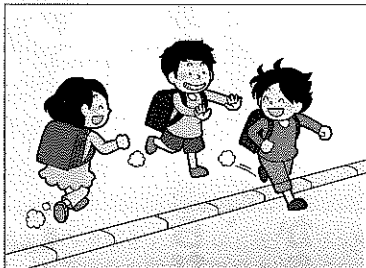
①道路への「とび出し」をよくする



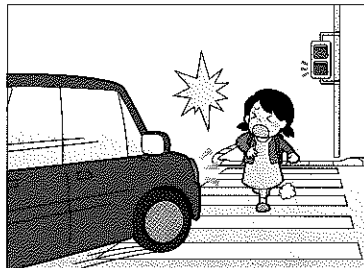
②小さな物陰でも姿が隠れる



③同伴者がいると、危険な行動をしがち



④右・左折車に対する警戒心が乏しい



●だから、保護者は必ず実践!

- ①とび出しの危険性を子どもに理解させる!
- ②物陰などからの横断の危険性を子どもに理解させる!
- ③通学(園)路の危険個所を子どもとチェック!
- ④信号の見方や、「青」信号でも危険があることを指導!

●だから、ドライバーは必ず実践!

- ①特に住宅地域の道路では、子どものとび出しを警戒!
- ②車や電柱など物陰からの子どもの横断を予測!
- ③同伴者がいる子どもの不意のとび出しを警戒!
- ④右・左折するときは、近くに子どもがいないか確認!

自転車を運転しているときも、子どものとび出しなどに注意!



春の交通安全県民総ぐるみ運動

交通事故死ゼロを目指す日 平成26年4月10日(木)

運動の期間 4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間

スローガン 「マナーアップ! あなたが主役です」

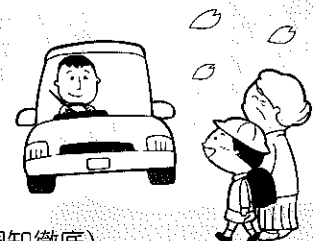
運動の基本 子どもと高齢者の交通事故防止

全国重点 1 自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)

2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

3 飲酒運転の根絶

栃木県重点 4 「子どもや高齢者に優しい3S運動」の推進



この交通安全家庭新聞は、栃木地区交通安全協会の会費で作成されています。